



2026年2月期 第2四半期 業績のご報告

連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

※百万円未満は切り捨てています。

	2025年2月期 第2四半期	2026年2月期 第2四半期
売上高	28,381	31,799
売上原価	22,177	24,912
売上総利益	6,204	6,887
販売費及び一般管理費	5,699	5,770
営業利益	505	1,117
営業外収益	122	115
営業外費用	77	91
経常利益	549	1,141
特別利益	1	6
特別損失	—	0
税金等調整前中間純利益	551	1,148
法人税等	122	218
親会社株主に帰属する中間純利益	429	929

連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)

※百万円未満は切り捨てています。

資産合計		負債・純資産合計	
2025.2 期末	2026.2 第2四半期末	2025.2 期末	2026.2 第2四半期末
資産合計 47,208	資産合計 46,704	負債・純資産合計 47,208	負債・純資産合計 46,704
流動資産 21,785	流動資産 20,637	流動負債 11,683	流動負債 10,769
固定資産 25,423	固定資産 26,066	固定負債 5,257	固定負債 4,714
棚卸資産 4,796	棚卸資産 4,592	株主資本 28,837	株主資本 28,507
有形固定資産 20,333	有形固定資産 20,285	その他の包括 利益累計額 2,334	その他の包括 利益累計額 2,618
無形固定資産 84	無形固定資産 132	新株予約権 95	新株予約権 95
投資その他の 資産 5,005	投資その他の 資産 5,647	純資産 30,267	純資産 31,220



Point 連結損益計算書

■ 売上高

今期よりスタートした中期経営計画「Create Future with Passion」に基づき、コア事業であるBtoB(卸売)事業の強靱化に取り組み、主要得意先に対する商品のブランディングや、消費者向けのプロモーション施策まで含めたトータル提案の強化に加え、得意先からの実需に合わせた引き付け型の発注ニーズに機動的に対応した結果、売上高は前年同期比12.0%増収の31,799百万円となりました。

■ 営業利益

売上高の増加に加え、物流の効率化や、不採算であった一部の小売事業について事業からの撤退や構造改革を進め、在庫の適正化などによる資本効率の向上に取り組んだことで販管費の増加を抑制した結果、前年同期比121.2%増益の1,117百万円となりました。

■ 中間純利益

営業利益、経常利益がともに増加したことなどから、中間純利益は前年同期比116.6%増の929百万円となりました。



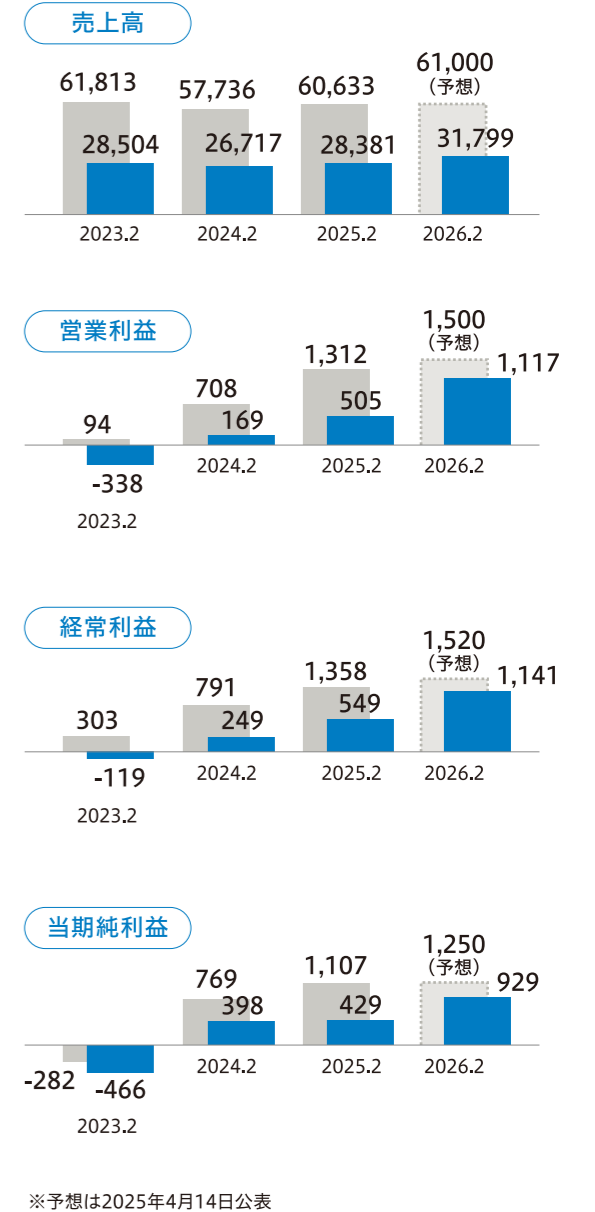
Point 連結貸借対照表

総資産は、投資有価証券が増加した一方で、現金及び預金、受取手形及び売掛金、棚卸資産が減少したことなどにより、前期末に比べて減少しました。負債は、支払手形及び買掛金、借入金が増加したことなどにより、前期末に比べて増加しました。純資産は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加、自己株式の減少などにより、前期末に比べて増加しました。

連結業績の推移・予想 (単位:百万円)

※百万円未満は切り捨てています。

■ 中間期 ■ 通期



※予想は2025年4月14日公表